

7. 吹付工事の施工

(1) 吹付工事概要

- 1) 吹付材料・・・**アクリル系**吹付けタイル(商品名)
- 2) 吹付け工法・・・**ローラ-** **パターン**の仕上がりである。
- 3) 吹付け面積・・・
- 4) 吹付工事範囲・・・別途立面
下地修

項目
汚れ除去
付着物除去
気泡補修
シーラー塗布
不陸修正
日違い修正
破損修正
ひびわれ修正

、次表による。

真	左官工事
	×
	×
	×
	×

(2) 要求品質・設計仕様

- 1) 外装吹付け材料

耐候性および光沢があり、**アクリル系**吹付けタイル(J商品名)を選定する。
出来上がり**標準パターン**は、
- 2) 仕上がり状態：太陽光など
- 3) 塗り見本の提出

塗料の発注に先だち、各工種
つやおよび吹付けの種類に
工程、工法、吹付け者の技能
吹きを行い、監督員の確認

目)を考慮した。

し、JASS 23 吹付工事の仕様に基づき、

状態とする。

cm角以上)を係員に提出し、模様・色・
について承認を得る。

を検討するため、施工予定の下地に試し

(3) 仮設計画・施工条件

1) 作業条件

作業時間：8：00～17：00 までとし、日祭日は作業しない。

気象に関する条件

- ・風：風速 5m / sec 以上のときは、作業を中止する。
- ・雨：降雨が予想されるときは、作業を中止する。

吹付け終了後、最低 12 時間は雨がかりを避ける。(降雨が予想されるときは、シートな

http://gemba-know-how.com

どにより養生を行う)

- ・気温：原則として3℃以下のときは、作業を避ける。

吹付け作業方法

日射、風除けその他のため施工部分については、シート養生を行う。

2) 作業足場および近隣対策

作業足場

- ・作業足場は、躯体施工時に
- ・吹付け後、足場解体を含め維持管理を行う。

近隣対策

- ・吹付け作業では、吹付け材が
- ・ト養生を行い、塗材の飛散

る。

付着しないよう、また、損傷しないよう

ていくおそれがあるので、足場面にシー

(4) 億用材料・取扱い方法

1) 商品名： (JIS A69

2) メーカー： 工業(株)

3) 使用材料の容量・荷姿

下吹材： シーラー

主材： 20kg

仕上材(上吹材)：

仕上材うすめ液：エナメル

工場第 号

缶

型) 15kg/缶

4) 材料の搬入・保管

吹付け材料の荷姿を完全に保

(JIS マーク、規格種別、専

吹付け材の保管は2階の所定

は、火気厳禁の表示を行い

使いかけの吹付け材は必ず密

のは速やかに拭き取る。ま

に缶に入れて保管する。

監督員の検査を受ける。

する)

りをするとともに置場内およびその周辺

びたりしないように注意し、こぼれたも

布切れなどは、引火のおそれがないよう

吹付け材は、低温時凍結しない

職長は施工期間中、数量の掛

危険物取扱い責任者を明記す

。

火災防止、換気に注意するとともに、危

(5) 吹付け作業の準備

吹付け材の塗膜性能を十分に発揮させるため、下記の作業を事前に行う。

1) 下地コンクリートの条件

面の状態：平坦で突起のないことを目視で判断し、付着物がある場合は、ケレン、水洗いなどにより除去する。(ごみ、ちり、土砂、油脂、未硬化セメント粉など)

<http://gemba-know-how.com>

下地の乾燥状態：下地の状態を確認し、監督員と協議してから吹付け作業に着手する。

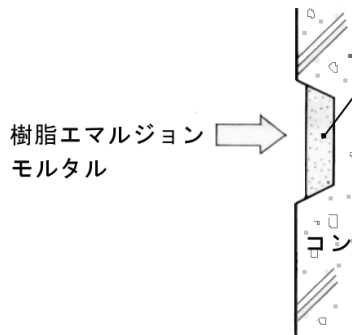
2) 下地の調整

コンクリート面の修正：コンクリート面が著しい不陸、3mm以上の目違い、豆板や亀裂などが存在する場合は、下記要領にて調整・補修を行う。

セパレータ穴の処理

豆板の補修

発生箇所を研り取り、合成樹脂エマルジョン入りモルタルを充填し、合成樹脂エマルジョン入りモルタルで平坦にしておく。

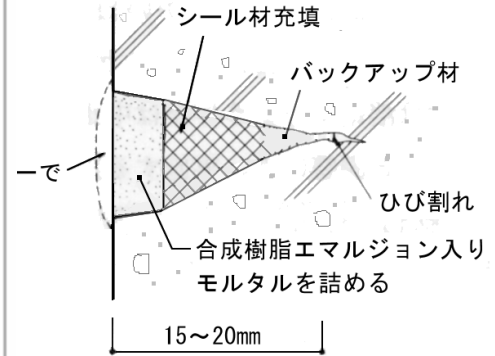


不陸、目違いの処理

サンダー掛けの上、樹脂入りモルタル、下地調整材を施工し、シーリング材を施工する。

セメントモルタルを入念に充填する。(漏れ防止のため)

乾燥後、グラインダーなどでカットし、合成樹脂エマルジョン入りモルタルで塗り埋め、硬化後サンダー掛けを行う。



乾燥期間を4日以上とする。

養生を行う。

3) 養生

吹付工事における養生について

吹付材の品質確保：気象条件を確認する。

- ・外装吹付け時においては、養生シートを施工し、特にパラペットと足場の間には、雨が吹きこまないよう覆いをかける。

- ・寒冷期の施工となるため、暖かい日を選んで施工することに努める。やむをえず気温5℃以下のときに施工する場合は、シート覆いの他、**ジェットヒーター**で保温する。(この場合、ヒーター稼働時は溶剤系を扱う作業は中止し、材料も他の安全な場所に離す。)

近隣対策：吹付材飛散による汚染防止に対して

- ・外装足場を利用して、シート養生を行う。建物各面単位で全面に設置する。

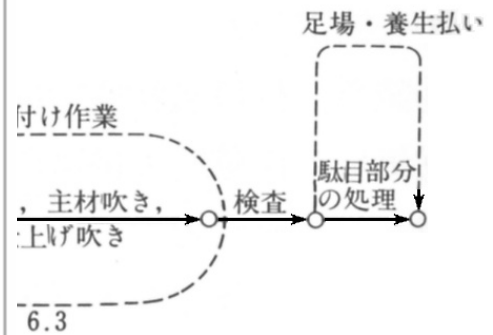
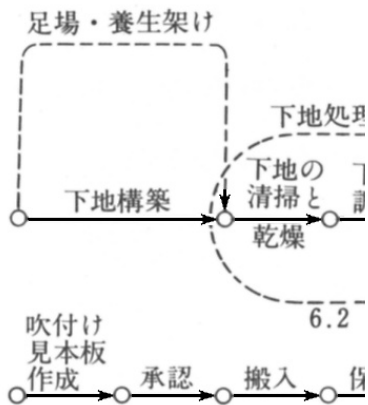
<http://gemba-know-how.com>

建物汚れ防止：周辺の他の部材および仕上げ面の汚れなどに対して

- ・部材・仕上面： 建具、枠、回り縁、ガラス、プラスチック材、金物、その他
- ・養生材： 養生シート、ポリフィルム、クラフト紙などを粘着テープを用いて接着する。
- ・このとき、施工面とテープの境が蛇行しないよう、風などにより簡単に剥がれないように行う。

(6) 吹付け作業

1) 施工フローチャートおよび作業順序



吹付け作業順序

(商品名)

工程	材料	
	材料	
下吹き	シーラー	
	清水で希釈	
主材吹き		
	清水で希釈	
押え	ロー7-	
仕上材吹き	アクリルカラー	
	エナメル用シンナーで希釈	35 - 85

塗り回数	間隔時間 (H)		
	工程内	工程間	最終養生
1	-	0.5 以上	-
2	0.5 - 24	24 以上	-
	-	24 以上	-
2	3 以上		24 以上

http://gemba-know-how.com

2) 機械器具および工具

吹付け機器の種類と性能は下記とし、整備した状態で現場に持込み、係員の検査を受ける。

コンプレッサー：圧縮型 製、能力3馬力

圧送吹付け機：スネークポンプ型 製、吐出量最大10リッター/分

スプレーガン：専用型

3) 準備・確認事項

工事着手に際して、下記事項

下地コンクリートの条件

下地の平坦性、付着物の除去

下地の調整、補修状況

不陸補正、セパレーター穴

行う。

・ コールドジョイント補修

4) 吹付け作業

吹付け区画

a . 吹付け作業は、工程ご

b . 吹継ぎができる場合は、

(目地区画は、別途設

c . 吹付けは、上階から下

る。

よっては、垂直目地)で吹継ぎとする。

吹付け作業

a . 吹付けはスプレーガンの
生じないように行う。

b . 吹付けにあたっては、作
ら作業を進めていく。

c . 吹き終わった部分に接し
を行う。(風下側につい

d . 足場の布板まわり……足
に、下の段から吹付け、

e . 入隅部……各辺に沿って

に保ち、縦横2方向に吹き、模様むらを

ご接続面でパターンの状況を確認しなが

養生して新たな飛沫が飛ばないように作業
する)

黄じま状のパターン乱れを防止するため
ンを合わせる。

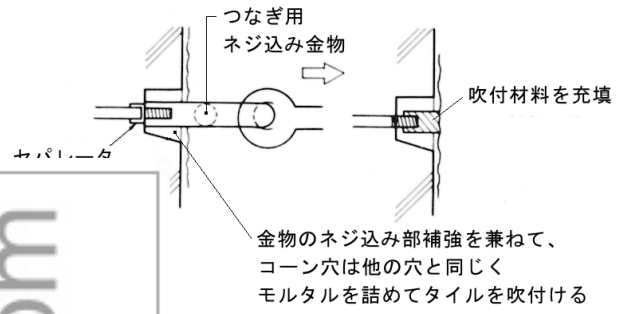
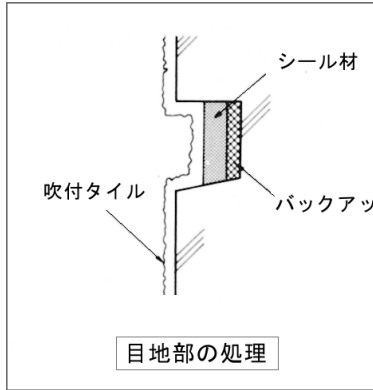
ては吹付けない。

目地および足場壁つなぎの

この部分は入念に行い、他

よう下図の要領とする。

<http://gemba-know-how.com>



壁つなぎ跡の処理

出来上がりチェック
 パターンの仕上がり状態、吹
 その判定時期、方法、規準

ら、つやむらなど出来上がりに関して、
 質管理表による。

<http://gemba-know-how.com>